



学ぶ構え

校長 佐々木 秀之

「霜降」を過ぎ、秋も酣、抜けるような青空の日が続いています。先月末の運動会はあいにくの天候により、2日とも延期せざるを得ず、火曜日開催となりました。それでも一つの行事を終え、子供たちはまた一回り成長してくれたことだと思います。

さて、先日読んだ本に「学ぶ構え」ということが書かれていました。そもそも日本の教育は身体から入る教育だったというのです。確かに、昔は正座をして学んでいました。正座で数時間いることは、とても足が痛いことですし、合理的とはいえません。椅子でリラックスして学んだほうが効率的です。しかし、正座をして学ぶことにはある意味の合理性があったというのです。つまり、姿勢を崩さずに「学ぶ構え」をつくり、姿勢を崩したいという気持ちと戦うことで自分の身を律することを同時に行い、自然に「学ぶ構え」を訓練していたというのです。

姿勢を正すということは学習効率の面からもとても大切です。勉強だけでなく、姿勢を正すことは、学習や作業の効率を上げるだけでなく、気持ちの入り方に大きな変化を及ぼします。やる気がないときは知らず知らずのうちに机にひじをつき、頬杖をつくなどの姿勢をとってしまいます。姿勢が悪いということは、見た目が悪いというのは当然のことですが、姿勢の悪さによって首筋などの血流が悪くなり、それだけ脳にスムーズに栄養分や酸素を運びにくくなります。脳にいい訳がありません。同じ計算問題を姿勢を正して行うのと、姿勢を崩して行うのでは、回答数及び正答率は 20%以上姿勢を正して行ったほうがよいという実験データもあります。

「学ぶ構え」がない人に何かを教えようとしても、少しも吸収してもらえない。サッカーに興味のない人にサッカーを教えても上手くならないのと一緒にです。それと同じことは学習にもいえます。ひとたび「学ぶ構え」に入ったときは、同じことを聞いても吸収の度合いがまったく変わってきます。たかが姿勢、されど姿勢。姿勢を正しくすることは、自分で「自分の気持ちや体をコントロールする」最も大切なことです。無理に背筋を張るという感じではなくても、リラックスした上で軽く背をのばす感じでいいのだそうです。

「授業開始時刻を守り、学習の始めと終わりにあいさつをする」「正しい姿勢で着席し、授業に集中する」「指名されたら「はい」と返事をし、立って答える」「学習時はていねいな言葉づかいで話す」「授業前に学習の準備を整える」など、子供たちには、あらためて「学ぶ構え」を身に付けさせたいと考えています。

学校の行事予定（11月分）

行事予定 (○数字は学年)				授業時数					
日	曜	朝会・集会 委員会・クラブ	行事	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
1	土								
2	日								
3	月		文化の日						
4	火		5時間授業	5	5	5	5	5	5
5	水	クラブ活動	歯科健診⑤⑥ 自転車安全教室③	5	5	5	6	6	6
6	木			5	5	6	6	6	6
7	金		避難訓練	5	5	5	6	6	6
8	土								
9	日								
10	月	全校朝会		5	5	5	6	6	6
11	火			5	5	5	6	6	6
12	水		歯科健診③④ 4時間授業（1年2組のみ5時間授業）	4	4	4	4	4	4
13	木			5	5	6	6	6	6
14	金			5	5	6	6	6	6
15	土								
16	日								
17	月	たてわり班活動		5	5	5	6	6	6
18	火		5時間授業	5	5	5	5	5	5
19	水		就学時健診 ※4時間授業（下校12:30頃）	4	4	4	4	4	4
20	木			5	5	6	6	6	6
21	金			5	5	6	6	6	6
22	土								
23	日		勤労感謝の日						
24	月		振替休日						
25	火			5	5	5	6	6	6
26	水		歯科健診①② 4時間授業	4	4	4	4	4	4
27	木			5	5	6	6	6	6
28	金	音楽集会		5	5	6	6	6	6
29	土								
30	日								

※19日（水）は就学時健診の為、4時間目に給食を食べて下校します。下校時刻は12:30頃の予定です。

【12月の主な予定】※全学年に関わるもの

11日（木）4時間授業

12日（金）4時間授業

17日（水）～23日（火）個人面談 4時間授業

24日（水）給食終わり

25日（木）2学期終業式 ※給食なし4時間授業

26日（金）～1月7日（水）冬季休業日

1月8日（木）3学期始業式

運動会を終えて

体育主任より

先日はお忙しい中、運動会へのご参加・ご声援をいただき、誠にありがとうございました。

当日までの練習期間、子供たちは自分の目標に向かって一生懸命取り組んできました。表現では全身を使って伸びやかに踊り、素晴らしい笑顔を見せてくれました。6年生による鼓笛行進は、今年で49年目になり、その伝統を次に繋げてくれる素晴らしい演奏をしてくれました。短距離走では、結果に喜ぶ姿もあれば、悔しさをにじませる姿もありましたが、それぞれ全力を尽くす姿が印象的でした。団体競技では、僅差で勝敗分かれる中でも、勝ったチームをたたえ合う温かい姿が見られました。

また、今年は昨年度以上に他学年を応援する声が多く聞こえ、学校全体が一丸となって盛り上がる運動会となりました。短い時間の中にも、子供たちの成長を感じる場面がたくさんありました。今後もこの経験を通して、さらに成長していってほしいと思います。



冬の体育の服装について

体育時の服装についてお知らせします。

1 上着について

- ・チャックやボタンなどの飾り、フード、ポケットのついていないトレーナーやスウェット。
- ・体育着の下の下着は、長袖は不可。

2 脚部分について（黒または紺色をベースにしたもの）

- ・スポーツタイプのスパッツ（足首が出るもの）
- ・レギンス
- ・ジャージタイプの長ズボン（色の指定なし）

3 その他

- ・家から着てきた洋服は、そのまま体育で着用することはできません。
- ・上記の防寒着は、体育着袋に入れてください。
- ・長ズボンを履く場合は、途中で着脱ができるよう下に体育着の半ズボンをはかせてください。